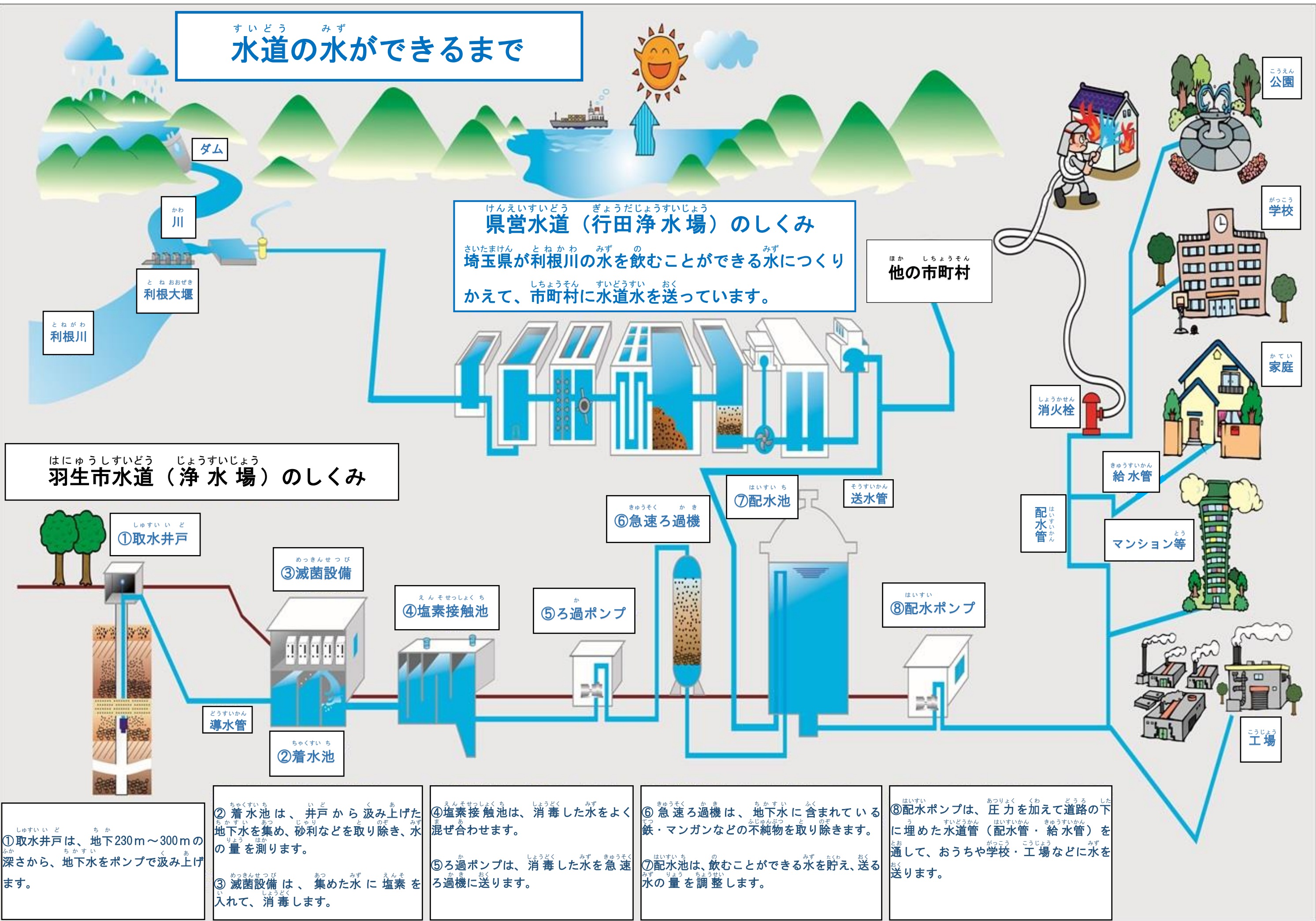
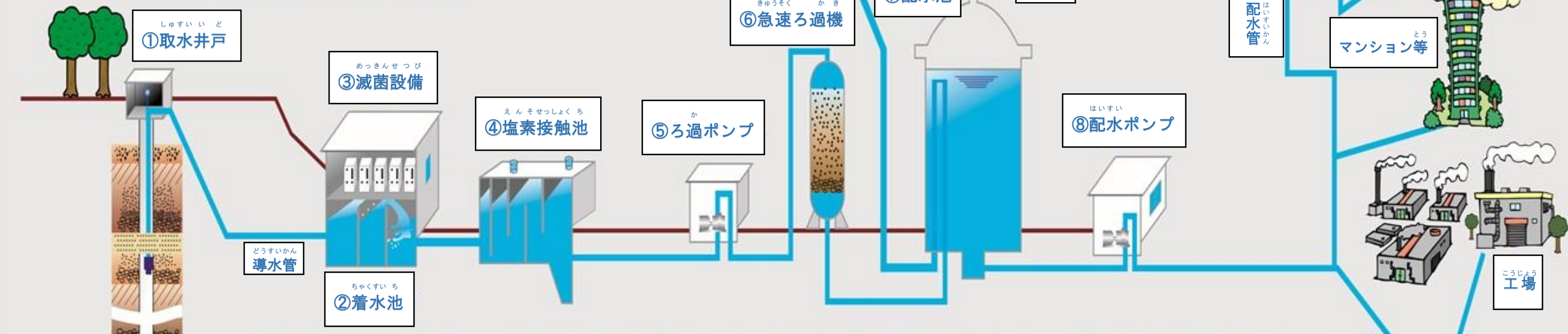


水道の水ができるまで



けんえいすいどう ぎょうだじょうすいじょう
県営水道（行田浄水場）のしくみ
 さいたまけん とねかわ みず の
埼玉県が利根川の水を飲むことができる水につくり
 かけて、市町村に水道水を送っています。

はにゅうすいどう じょうすいじょう
羽生市水道（浄水場）のしくみ



①取水井戸は、地下230m～300mの深さから、地下水をポンプで汲み上げます。

②着水池は、井戸から汲み上げた地下水を集め、砂利などを取り除き、水の量を測ります。
 ③滅菌設備は、集めた水に塩素を入れて、消毒します。

④塩素接触池は、消毒した水をよく混ぜ合わせます。
 ⑤ろ過ポンプは、消毒した水を急速ろ過機に送ります。

⑥急速ろ過機は、地下水に含まれている鉄・マンガンなどの不純物を取り除きます。
 ⑦配水池は、飲むことができる水を貯え、送る水の量を調整します。

⑧配水ポンプは、圧力を加えて道路の下に埋めた水道管（配水管・給水管）を通して、おうちや学校・工場などに水を送ります。